

あなたに Click!!

篠嶋璃帆さん

専攻科/日本画(富山県出身)



きっかけ

日本画との出会いは中学2年生の時です。その頃から気になる展覧会には友だちとよく行っていました。ある時、院展を見に行き、そこで初めて日本画を観ました。想像していたものとは違い、大きく描かれた日本画に感動しました。いつかわたしもこんな絵を描きたいと思いました。それから美術コースがある高校に進学し、学校や画塾で学びました。そして「日本画を学ぶなら奈良芸がいいよ。」と画塾の先生が勧めてくれました。地元で開催された進学説明会に参加して、学校見学もして、地元の富山と風景が似ているところも気に入り、受験を決めました。

第41回創画展で初入選!

初めて出品して初入選だったので、とても嬉しかったです。東京で開催された懇親会にも参加しました。自分の作品が東京都美術館に展示されているのを見て大感激でした。自分と同じように日本画を描いている、同年代の学生と話せたのも刺激になりました。

「統京都日本画新展」は推薦委員の方から連絡があって出品することになりました。松柏美術館(上村淳之館長)での奈良芸専攻科展でわたしの絵を観て推薦してくれたようです。突然の電話で驚きましたが、嬉しかったです。

学んだこと

大切にしていることは「自分がどうしたいか考える」です。人に言われてやるのではなく、自分で考えて、自分が納得して物事を進めないと結局は続かなかったりします。自分で決めた事であれば、壁にぶつかっても、どんなことがあっても、諦めずにやり通すことができます。4年間奈良芸で過ごし、制作を通して、学びました。大切なことに気付けて少しは成長できたかなと思います。

卒業間近になって思うこと

奈良芸がすごく好きです。この4年間に心から満足しています。美術科の2年間は制作と教職免許取得のため授業で多忙でした。自分でも頑張ったと思います。さらに2年間、日

本画をきわめたいと思い専攻科に進みました。

先生にも友だちにも恵まれたと思います。先生とはいろんな話をしました。制作で悩んだ時はもちろん、人生相談にもたくさんのっていただきました。

鞆工房の会社に内定

全国的にも知られているランドセル専門の会社に内定を頂きました。わたしは4月から製造部門に所属し、革を裁断し、貼ったり、ミシンで縫ったりとランドセル製作に携わります。もともと手を使う作業が得意で好きというのがあるって、手作業で丁寧にものをつくる仕事に就きたくて応募しました。社会人になるということでも身が引き締まる思いですが、同時に絵を描き続けていきたいです。仕事と制作活動の両立をすることがこれからの目標です。



第41回創画展「誰も知らない」

News

■専攻科2回生/陶芸コースの黒松明生さん奈良県大和郡山口市に金魚の陶芸作品を寄贈

黒松明生さんは金魚の養殖で有名な大和郡山口市の出身です。以前から金魚をモチーフにいくつもの作品制作に取り組んできました。この度大和郡山口市に寄贈することとなり、寄贈式が行われました。



■ディズニー公認イラストレーターにカズ・オオモリ先生

デザインコース准教授のカズ・オオモリ先生が映画「ベイマックス」(ウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオ2014)のUS版オフィシャル・ポスターを制作されました。公式記者会見がアメリカのニューヨークで開かれ、会場の椅子にはカズ先生が手掛けたポスターがずらりと並びました。



■大阪府八尾市文化新人賞に洋画コース卒業で童画家・イラストレーターの徳治昭さんが受賞

徳治昭さんは、童画家・イラストレーターとして、手描きからCGまで対応し、出版・広告・キャラクターデザインなど手掛けています。また絵本や画集、グッズを展開するなど幅広く活躍されており、大阪府八尾市にある徳治昭童画館を拠点に全国各地で個展やイベントを開催し、八尾図書館においても個展を開催し、同図書館のおはなし室のカーテンデザインを手掛けるなど、八尾市の芸術文化の発展に大きく寄与されたことが認められ、受賞。2014年11月3日文化の日表彰式典で表彰されました。

Prize

第41回創画展2014(秋季)

- 奨励賞 森中歩さん(日本画2013卒)
- 入選 菊地将宗さん(日本画1998卒)
- 〃 館石美和子さん(日本画2007卒)
- 〃 中井美智子さん(日本画2008卒)
- 〃 鳥居結子さん(日本画2010卒)
- 〃 田中彩乃さん(日本画2012卒)
- 〃 花本鈴子さん(日本画2012卒)
- 〃 芳野智恵さん(研究生/日本画)
- 〃 篠嶋璃帆さん(専攻科2回生/日本画)
- 〃 西田香織さん(専攻科2回生/日本画)
- 〃 向平真奈さん(専攻科2回生/日本画)
- 〃 村上晴香さん(専攻科2回生/日本画)



第41回創画展 奨励賞
森中歩さん「夜の底」

改組新第1回日展

- 入選 沢田一葉さん(陶芸1983卒)
- 〃 喜多浩介さん(陶芸1988卒)
- 〃 中谷千景さん(染織1993卒)
- 〃 白川奈央子さん(日本画2012卒)

第9回ジャパンランプワークソサエティ公募展

- 入選 前堀美緒さん(クラフトデザイン2007卒)

第12回全国ポストカードデザイン大賞

- 入選 岸本望さん(クラフトデザイン2回生)

新創美術協会 第50回秋の小品展

- 大阪市教育委員会賞 仲井良太さん(洋画2001卒)

第9回GATSBY学生CM大賞

- 最終選考23作品ノミネート 石田愛さん(専攻科1回生/デザイン)
- 一色香澄さん(専攻科1回生/デザイン)
- 熊澤あかりさん(専攻科1回生/デザイン)



第42回御所市美術展覧会<工芸・彫塑の部>

- 教育委員会賞 一色香澄さん(専攻科1回生/デザイン)

第76回一水会展

- 入選 島本雅子さん(洋画2006卒)
- 〃 東城和代さん(洋画2011卒)

第48回女流陶芸展

- 入選 月原麻友美さん(陶芸2009卒)

第60回全関西美術展

- 入選 孤杉厚美さん(日本画2007卒)
- 〃 中沢鮎子さん(日本画2014卒)
- 〃 浅野泰大さん(染織2014卒)
- 〃 渡辺さちこさん(研究生/陶芸)

第65回奈良県美術展覧会

- 県議会議長賞 大原菜生子さん(専攻科1回生/染織)
- 奈良市長賞 孤杉厚美さん(日本画2007卒)
- 入選 吉村百恵さん(陶芸2000卒)
- 〃 渡辺さちこさん(研究生/陶芸)
- 〃 黒松明生さん(専攻科2回生/陶芸)
- 〃 吉井加奈さん(専攻科2回生/陶芸)
- 〃 福井幹典さん(専攻科1回生/陶芸)
- 〃 若原康平さん(専攻科1回生/陶芸)

第2回続「京都日本画新展」

- 出展 賞候補 森中歩さん(日本画2013卒)
- 出展 田中彩乃さん(日本画2012卒)
- 〃 篠嶋璃帆さん(専攻科2回生/日本画)

Gallery

■南口とまと×まえだあきひろ
Picture Book & Wood Craft Exhibition 2014
研究生(デザイン)南口とまとさんの絵本展
10/4~10/13
高市郡高取町 ギャラリー・夢創館



■あたたかい世界 ~2人が描くイラストレーション~
デザインコース2回生イラストレーションクラスの
森井裕里菜さんのイラスト展
11/12~11/16 大阪市 ギャラリー風雅



■SHIMOMIKADO PHOTOGRAPH EXHIBIT
写真でつづる しもみかど商店街
奈良市下御門商店街の写真ポスター27点を
デザイン広報サークルと卒業生が制作
11/1~ 奈良市下御門商店街



■染織コース専攻科作品展
12/5~12/7 奈良県文化会館



■「ふたり展」すいへいりいべえ 僕の船
専攻科1回生(洋画)太田遥香さん、横井里美さんの
ふたり展
11/7~12/2 奈良市
藝育カフェ ごはんおやつアートsankaku



■畝展
日本画コース卒業生、専攻科生の作品展
12/23~12/27 京都府立文化芸術会館



Festival

■紫苑祭2014

今年のテーマは「映画」でした！レトロな映画館を感じさせるようなメインステージを設置し、キャンパスは映画の登場人物になりきった学生たちで大いに賑わいました。

10月24日前夜祭から始まり25～26日に開催、男装女装コンテスト、ライブ、カラオケ、模擬店、フリーマーケット、キャンプファイヤー、学生作品展、教授展。創立50周年記念で大人気イラストレーターの中村佑介さんをゲストでお招きし特別講演会。内容盛りだくさんでフィナーレは恒例の花火で感動に包まれました。



Topics

■卒業制作スケッチ旅行

洋画コース
10月1日～3日 三重県鳥羽市
日本画コース
10月29日～31日 三重県答志島



■学外研修 陶芸コース

11月にアート研修で奈良の天理参考館と古梅園に行ってきました。古梅園は墨を製造している会社で、陶芸では絵付けの時にまず墨で線描きをします。陶芸制作に関わる道具や材料の製造工程を見学するのも大切な授業の一環です。



■歴史公開講座

10月25日、「斑鳩・藤ノ木古墳を考える」をテーマに歴史公開講座が行われました。第一部の「藤ノ木古墳の被葬者像を探る、ふたたび」は、京都大学名誉教授の片山一道氏に石棺内に葬られたきらびやかな装身具を身にまとった二人の被葬者像について、骨考古学の最新の知見を語ってもらいました。



第二部の「藤ノ木古墳の調査で得られたもの」では、本学前園実知雄教授が発掘調査の際におびただしい出土品をはじめ古墳時代の葬送儀礼の一端まで垣間見たことを解説しました。今年も近隣より、多くの考古学ファンが受講され熱心に聴かれていました。

■榎原ライオンズクラブ50周年記念事業 民話絵本2作の絵を制作

堀見日紗子さん(デザイン2012卒)が、タヌキが人間に恩返しをする榎原市曾我町の「きたばやしのたぬき」の民話を、南口とまとさん(研究生/デザイン)が、天照大御神が磐座(いわくら)に隠れる神話で知られる香久山地区の「天の岩戸と七本竹」のすべての絵を描き上げました。



卒業生メッセージ

藤原 剛さん(グラフィックデザイナー)

2007年専攻科/デザイン修了
現在、印刷関連会社勤務

**クライアントの要望と
「自分はこうしたい」という思いが
重なり、最高の仕事になる！**



この仕事の魅力・やりがい

会社では、主に企業や学校の映像制作・編集、パンフレット・Webサイトのデザイン・ディレクションなどを担当しています。限られた予算の中でアイデアを出しあって作った作品が気に入られて採用されたり、その場では通らなくても、何ヵ月か後で別の仕事につながったりすると大きなやりがいを感じます。何もないところから自分たちで企画・

デザインしたものが世間に出て、人々の反応を見られるというのが、この仕事の醍醐味。クライアントの要望と“自分たちはこうしたい！”という思いが噛み合わない時は苦勞しますが、良い落とし所が見つかった時は一転して最高の仕事になります。

わたしの学生時代

奈良芸在学中に応募した、プロ・アマ問わず自作のオリジナル映像作品を審査するテレビ番組で自分の作品が選ばれて紹介された時は、とても嬉しかったです。学校では先生によく作品の企画書とコンセプトを書かされました。実際の現場では、アーティストと違い、クライアントからお金をもらい、クライアントの意向にそった形で最高のデザインを提供する必要があります。当時は何故自分の好きなデザインができないかと思っていました。が、今考え



れば、アーティストとデザイナーは違うということ、在学中に学べたのはとても良かったと思います。また、大学の周りの環境も良かったです。作品のモチーフを考えるために、よく外に出ていました。

これから叶えたい夢・目標

今後は、映像作品、Webサイトというように、制作したものを単体の商品としてみるのではなく、クライアントのセールスポイントを総合的に考えながら展開できる仕事をしていきたいです。例えば、展示イベントのキャンペーンブースなどで、複合的にトータルプロデュースできるような仕事にもチャレンジしたいです。そのためには提案ひとつひとつの精度をもっと上げる必要があるので、人々のつながりを大切に、社外のクリエイターさんやイベント会社の方など、周りの方ともっと深く関わられるよう頑張っていこうと思っています。



Topics

■奈良県生駒市 高山竹あかりのポスター等制作

デザイン広報サークルでデザイン案から制作まで取り組み、その中からメインビジュアルは濱本麻有里さん(デザイン1回生)のデザインが採用されました。パンフレットは淡路谷拓実さん(デザイン2回生)、マップを竹尾日菜子さん(デザイン1回生)がデザインしました。



■大和高田市立高田商業高等学校の創立60周年記念文化祭でのオープニング映像を手掛ける

文化祭のオープニングで全校生徒の前で流すプロジェクトマップをデザインコース専攻科生が制作し、上映しました。高校生や先生に出演してもらった映像が流れると歓声が上がリ、最後まで楽しんでもらえました。



■奈良・町家の芸術祭「はならあと」に参加

今年で4回目となる奈良の古い町並みの魅力を全国に発信するアートイベント「奈良・町家の芸術祭はならあと」が郡山城下町、奈良きたまち、生駒宝山寺参道、田原本寺内町、御所まち、五條新町、今井町、八木札の辻で11月7日～11月24日に開催されました。本学は橿原市の八木札の辻会場に参加し、春日神社で洋画コースの風景作品とJR畷傍駅の貴賓室にデザインコース2回生メディアデザインクラス(映像やアニメーションを学ぶクラス)の学生たちによる映像プロジェクションマッピングを披露しました。



■奈良県王寺町ミルキーウェイ(天の川)イベントに参加

11月22日(土)に開催された王寺町のイベントにデザインコース2回生メディアデザインクラスが参加。達磨寺の池で「浮き星ライティング」を実施。またデザイン広報サークルで願い事が叶うダルマっち☆絵馬をデザイン。予想を上回るたくさんの来場者で賑やかな一日となりました。

建学の精神

日本人の心のふるさと飛鳥で「教育は環境なり」の信念のもと、芸術性豊かな人材を培い、造形的精神や技術を習得することによって品位ある社会人、専門家としての人材を育成する。

教育理念

この建学の精神を生かすべく『人間性回復と創造性開発の扉を拓く』を教育理念とし、飛鳥で生まれた日本人の心が、今を生きるヒントになることを期して教育を展開する。

教育の目的

本学は、清浄な環境において、人間性の錬磨と知性の涵養に努め、一般教養及び美術に関する専門教育を施し、学生自らの人間形成を支援して、社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。

教育の目標

- 目的達成のため重点目標をおく。
- 1.正しくものを観る眼を養い、創造性開発のための基礎基本の徹底
 - 2.飛鳥(古代)文化に根づく感性の育成
 - 3.技法・技術のみならず人権文化に徹した人づくり
 - 4.『もの』に働きかけ『もの』と取り組む造形活動の育成

学習成果 (こんな人を育てます)

- 美術の専門的・実践的能力を備えている。
- ヤル気・ホン気・コン気の態度を身につけている。